

音樂（一般・器樂合奏）

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

観点の内容

音楽科 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・知識の習得に関する記述の箇所数 ・表現の技能を高めるための記述の箇所数	・音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞に生かすことができるようにする。 ・音楽に関する歴史や文化的意義を、表現や鑑賞の活動を通して自己との関わりの中で理解できるようにする。 ・一定の手順や段階を追って身に付けることができるようにするのみではなく、課題などに応じて主体的に活用できる技能として身に付けることができるようにする。
B 思考力、判断力、表現力等	・音楽を形づくっている要素について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動が設定されている箇所数 ・楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えられるようにする。 ・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付ける。
C 学びに向かう力、人間性等	・いろいろな演奏形態による教材数 ・知覚・感受したことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実に関わる学習活動が設定されている箇所数	・音楽表現に対する思いや意図をもって音楽で表したり、曲想と音楽の構造や背景などに関わらせて味わって聴いたりすることによって、より深まった音楽活動の楽しさを体験できるようにする。 ・音や音楽、言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする楽しさや、様々な音楽に親しむことができるよう、指導計画を工夫する。

調査方法

種目名【 音楽 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・ 知識の習得に関する記述の箇所数について調査を行う。 （例）イメージ写真や説明、挿絵等の箇所 ・ 表現の技能を高めるための記述の箇所数について調査を行う。 （例）イメージ写真や説明、活動のイメージ図、挿絵等の箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・ 音楽を形づくっている要素について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動が設定されている箇所数について調査を行う。 （例）「音楽の特徴について確かめ、どのように歌いたいかまとめましょう」「音楽を聴いて、気付いたことをまとめましょう」などの記述がある箇所 ・ 楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数について調査を行う。 （例）音楽用語や記号についての説明や資料の箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・ いろいろな演奏形態による教材数について調査を行う。 （例）声楽・合唱・オーケストラ・和楽器などの教材の箇所 ・ 知覚・感受したことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実に関わる学習活動が設定されている箇所数について調査を行う。 （例）「聴いて感じたことを話し合いましょう」などの記述がある箇所

デジタル教材について	・ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・ 理解を深める内容となっているか調査を行う。
------------	--

調査結果 音楽

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	知識の習得に関する記述の箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	設定された中で音楽の知識を深めるための工夫が	見られる記述の箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	活動が設定されている箇所数
	1年生	○			○	○	
	23年上	○		○		○	
	23年下			○	○		○
教育芸術社	1年生		○	○			○
	23年上		○		○		○
	23年下	○	○			○	

調査結果 音楽(器)

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項 発行者	知識の習得に関する記述の箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	設定された活動について考える活動がと	音楽を形づくっている要素について	楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数	さまざまな演奏形態による教材数
教育出版	○		○		○	
教育芸術社		○		○		○

※発行者の特長である項目について、発行者ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 音楽（一般・器楽）		発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	・情報を精選し、イラストや写真を大きくすることで、身に付けるべき知識や技能に焦点が当たるように紙面を工夫している。 ・掲載されている写真やイラストが、学習すべき内容のポイントを押さえたものになっており、知識を習得したり、技能を高めたりするために適している。 （一般）・学習が関連付けられるように教材が配列されていることを生徒自身が自覚できるように、巻頭に「学習MAP」を示している。 （器楽）・演奏者の視点から撮った写真が掲載されており、生徒が演奏する際に具体的なイメージをもてるように配慮されている。		
B 思考力、判断力、表現力等	・教材ごとに段階的に学習を進めることができるように活動が設定されており、知覚したことと感受したことの関わりについて考えを深めることができるよう工夫されている。 ・複数の教材や楽器を比べたり関連付けたりしながら、学習目標に迫ることができるように構成されている。 （一般）・「Active」という欄に、知覚・感受したことを整理するための問いかけが示されていて、楽曲の理解を深めることができるようになっている。 （器楽）・楽譜に示されている記号の奏法が具体的に分かるよう、欄外に「トリル」や「トレモロ」などの部分だけを取り上げて別に示すなど楽譜の理解を深める工夫をしている。		
C 学びに向かう力、人間性等	・生徒の発達段階に応じた難易度の楽曲が選曲されており、生徒が意欲的に取り組めるよう工夫されている。 ・取り上げられている楽曲の数が多く、同じジャンルの中でも複数の楽曲を比べながら学習することができるため、生徒が主体的に取り組めるようになっている。 （一般）・「Active」という活動やキャラクターのセリフを通じて、生徒が個人でまとめたことや考えたことを交流する言語活動を示す工夫をしている。 （器楽）・世界の多様な同族楽器を比較して聴き、共通性や固有性を感じ取るような学習が設定され、音楽文化に親しめるような工夫がある。		

デジタル教材について	・プロの演奏者による模範演奏の動画が、演奏の技能を高めるためにある。 ・演奏者や指揮者の視点から動画が撮影されており生徒が実際の場面をイメージしやすく、技能の高まりにつながる内容となっている。
------------	---

種目名 音楽（一般・器楽）		発行者名	株式会社教育芸術社
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	・ 巻頭の「学習内容」のページでは、各教材で身に付けるべき資質・能力がどのようなものかが視覚的に分かるようになっている。 ・ 楽器の演奏や歌唱等の説明は図や写真、楽譜のいくつかをあわせて示し文字だけでなく具体的なイメージをもって表現の技能を高めることができるよう工夫されている。 （一般）・ 巻末には、「音楽を形づくっている要素」をイラストや楽譜を用いてまとめているページがあり、知識を整理して学び、技能に生かせるように工夫している。 （器楽）・ 技能の高まりにつながる情報や、様々な種類の同族楽器が紹介されている。		
B 思考力、判断力、表現力等	・ 教材には、重点となる「音楽を形づくっている要素」が、欄外にマークで示されており、生徒が意識をもって表現や鑑賞に取り組めるように工夫されている。 ・ 課題解決のための学習である「学びのコンパス」では、知覚・感受したことを整理したり、他者と伝えあったりすることで、自分の考えを広げたり深めたりした上で、表現に取り組む工夫がされている。 （一般）・ 巻末に、1年間の学びを振り返ることができるまとめのページがあり、生徒が既習内容を想起したり、学習を更に深めたりできるよう工夫されている。 （器楽）・ 教材ごとに、学習目標や活動内容が具体的に示されており、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができるようになっている。		
C 学びに向かう力、人間性等	・ 生徒の発達段階に沿ったものや唱歌、様々な場で親しまれ歌い継がれている楽曲などが取り上げられている。 ・ 様々な演奏形態の楽曲が豊富に掲載されており、自分の興味・関心が高いものを選び、主体的に取り組むことができるように構成されている。 （一般）・ 「学びのコンパス」には、話し合い活動が設定されており、自分の考えを広げたり深めたりできるようになっている。 （器楽）・ 教材として扱っている楽器について、学習の初めにそれぞれプロの演奏家の演奏を聴くことができるように構成されており、聴くことで生徒の興味・関心を高めることができるよう構成が工夫されている。		
デジタル教材について	・ 大半のページに、二次元コードが掲載されており、歌唱教材の旋律を音声で確かめることができる。また、曲の速度を変更することも可能である。 ・ 創作ツールを使って作曲できるようになっており、創作した曲を再生できる等の工夫がされている。		

美術

開隆堂

光村図書

日本文教出版

観点の内容

美術科 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることについて扱った箇所数 ・技法等などの手順を紹介した箇所数	・形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などから全体のイメージや作風などで捉えることなどについて実感を伴いながら理解できるよう留意する。 ・一定の手順に沿って材料や用具の使い方などの個別の技能を身に付けるだけでなく、生徒自らが発想や構想したことを基に、自分の意図をよりよく表現するための創造的に表す技能を身に付けられるよう留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・言語活動の充実に関わる教材や学習活動が設定されている箇所数 ・鑑賞の活動に関わる題材の数	・自己との対話を深めることや、〔共通事項〕に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりするなどの言語活動の充実に留意する。 ・鑑賞の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することに留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・美術を通した生活との関わりを扱った箇所数 ・生徒が表現や鑑賞の学習をしている場面の箇所数	・美術科の授業の内容を学校内で閉じることなく、生活や社会とつなげて関わりをもたせ、気付かせる工夫をしながら、主体的に生活や社会の中で美術を生かし、創造していく態度が養えるよう留意する。

調査方法

種目名【 美術 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・ 形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることについて扱った箇所数について調査を行う。 (例) 「柔らかい感じが出るように赤い花びらを塗る」、「なめらかな感じが出るように木を削る」など表したい感じを意識したり、制作した作品を基に、形や色彩が感情にもたらす効果を踏まえて表現の意図や工夫について話し合ったりしている箇所 一題材の中に、複数の学習活動がある場合は、それぞれで一題材とする ・ 技法等の手順を紹介した箇所数について調査を行う。 (例) 図や写真等で道具の使い方や技法について紹介している箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・ 言語活動の充実に関わる教材や学習活動が設定されている箇所数について調査を行う。 (例) 作品に対する思いや考えを話し合ったり、批評し合ったりしている箇所 ・ 鑑賞の活動に関わる題材の数について調査を行う。 (例) 作品のよさや美しさを味わい、作者の思いや意図を感じ取る活動等、各発行者が、鑑賞に関わる内容として扱っている箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・ 美術を通した生活との関わりを扱った箇所数について調査を行う。 (例) 学校生活で美術が生かされているような箇所や、工芸作品、日用品、工業製品、建築、標識、伝統芸能などについて扱っている箇所 ・ 生徒が表現や鑑賞の学習をしている場面の箇所数について調査を行う。 (例) 生徒が制作したり、作品について話し合ったりしている場面の箇所
デジタル教材について	・ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・ 理解を深める内容となっているか調査を行う。

美術

※発行者の特長である項目について、発行者ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 美術	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・作品の図版を大きく掲載することで、生徒が細部に着目し、造形的な特徴に気付くことができるようになっている。また、作品のそばに、表現の意図や工夫についての解説が書かれていて、解説を読んで改めて作品を見ることで、知識が定着するよう工夫されている。 ・表現の題材には、形や色彩等について述べた「作者のことば」が書かれており、形や色彩等と作品を結び付けて理解することができるよう工夫されている。 ・「美術の用語」の欄で、それぞれの用語について、形や色彩、技法等に触れながら解説されており、学習に必要な知識を造形要素と結び付けながら理解することができるようになっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・表現の題材は大半が4ページで構成されている。多くがはじめに作品鑑賞、次に主題を生み出す発想や構想、その後生徒の作品を参考に知識や技能を生かした制作活動の順で、表現と鑑賞の指導の関連を図りながら学習を進める構成になっている。 ・発想や構想の場面や比較鑑賞の場面等で、生徒が互いに考えたことや感じたことについて話し合い、考えを深めることができる活動が設定されている。 ・マインドマップやアイデアスケッチ等を活用して、言葉で整理したことを表現に生かす学習活動の例が提示されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻末の「学びの資料」や題材の終末で、SDGsに関わる作品や取組が紹介されており、社会と美術との関わりについて考えを深めることができるようになっている。 ・美術科で1人1台端末を効果的に活用できるよう、作品を構想するために写真を撮ったり、模様をデザインしたりする具体的な場面を示している。	
デジタル教材について	・アイデアシートや鑑賞シート、振り返りシートを必要に応じてダウンロードすることができる。 ・用具や技法の解説、鑑賞に役立つ資料や動画が、題材に応じて活用できる。	

種目名 美術	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・ 3 学年にわたって使用できる別冊の「資料」があり、形や色彩、材料等の造形要素の働きや、技法や材料の使い方といった知識が 1 冊にまとめられている。 ・ 「POINT」という枠囲みとキャラクターの吹き出しの中に、形や色彩、材料等、鑑賞するときに注目すべきポイントを示している。 ・ 「作者の言葉」には、作者の意図や工夫、形や色彩がもつ性質やそれらが感情にもたらす効果等について記述されており、生徒が表現の活動で工夫する際のヒントが示されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・ 中学生の制作の様子を紹介する「みんなの工夫」のページでは、主題を生み出す発想や構想の場面、表現の工夫をしている場面で、それぞれどのようなことを考えたかがわかるように、吹き出しにセリフが書かれている。生徒がそれらを参考にしながら発想や構想を膨らませることができる構成になっている。 ・ 多様な考え方や感じ方に触れられる工夫として、作品の構想を練るための話合いが示されている。 ・ 日本の絵画を紹介する資料が冊子としてはさみ込まれており、日本の文化や表現の特徴について考える学習を充実させるために活用できる。また、他のページとは紙質を変えることで、作品に対する具体的なイメージをもつことができるよう工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・ 他教科とのつながりがコラムで紹介されていたり、「道徳科とのつながり」として関連する内容項目が示されたりしている。 ・ 協働的な学びを促す工夫として、共同制作や鑑賞の学習活動として話し合う場面が掲載されている。 ・ 美術のもつ力や働きについて様々な角度から考える学習が設定されており、「個性を認める力」として、アール・ブリュットが紹介されている。	
デジタル教材について	・ 「みんなの工夫」のページに「作者のインタビュー」が収録されており、作品の制作の過程や工夫について述べられている。 ・ 作家の作品の鑑賞のページでは、「書き込みツール」が用意されており、分析したこと等を書き込みながら鑑賞することができる。	

種目名 美術	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・「題材の説明」「造形的な視点」「作者の言葉」の欄で、作品における形や色彩の働きやそれらが感情にもたらす効果等について説明されており、学習を進める上で必要な視点を明確にもてるよう工夫されている。 ・表現の題材の「表現のヒント」の欄で、参考作品で用いられている技法について図や写真等を示して説明がされており、生徒が表現方法を工夫する際の参考にできるようになっている。 ・1 題材の学習を見開き 2 ページにまとめ、学習内容が一見して理解できるよう構成されており、作家の作品と生徒の作品が主題や材料ごとに整理されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・ほぼ全ての題材の導入に「鑑賞の入り口」という欄を設け、鑑賞の視点を示している。また、鑑賞で学んだことを表現で生かせる構成となっている。 ・鑑賞作品を、原寸大にしたり複数並べたり掲載方法を工夫している。特に、屏風絵は、実物をイメージできるよう折り込みページにされており、鑑賞の学習に活用できるよう工夫されている。 ・生徒が制作する時に描いたアイデアスケッチやワークシートが掲載されており、発想や構想する際の参考にできるようになっている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・制作した作品を生活の中で使っている場面や、現代に生きる日本の伝統文化について紹介することで、美術と生活との関わりについて考えられるようになっている。 ・共同制作やICTを活用した学習場面の写真を通じて、具体的な学習の見通しがもてるよう工夫されている。 ・アール・ブリュットについて、近江八幡市にある「ボーダレス・アート・ミュージアムN0-MA」が紹介されており、身近な地域の美術文化について考えるきっかけを与えている。	
デジタル教材について	・造形的な見方・考え方を働かせるよう生徒に投げかける動画「学びのはじめに」という二次元コードが用意されている。 ・学習に合わせて活用できる様々なシンキングツールや、作品や建築を360度どの位置からも見ることのできるバーチャルコンテンツが用意されている。	

保健体育

東京書籍

大日本図書

大修館書店

G a k k e n

観点の内容

保健体育科 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・運動やスポーツとの多様な関わり方（楽しみ方）や「する・みる・支える・知る」について取り扱っている箇所数 ・健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性について取り扱っている箇所数 ・心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容の箇所数	・体育や保健の見方・考え方を働かせることを通して、保健体育科においては、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感したり、生涯に渡って心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための知識及び技能を習得できるように留意する。 ・「する・みる・支える・知る」といった生涯に渡る豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成に向けて、運動やスポーツの価値や文化的意義等の指導はもとより、指導する領域が有する特性や魅力が理解できていること、運動実践につながる態度の形成に関する知識を獲得していること、保健で学習する健康・安全の概念と体育の分野で学習する健康・安全の留意点との関連を図ることに留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康・安全に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数	・健康・安全に関する課題に対応して、自己の健康・安全を保持増進するための的確に思考し、判断するとともに、それらを表現することができるような資質・能力の育成を目指すことに留意する。 ・健康に関する課題を解決するなどの学習活動を取り入れ、知識を身に付ける指導に偏ることなく、自ら考えたり、判断したりしながら実践的に理解できるよう留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような共生の視点の箇所数 ・自己の健康・安全に関する取組や自己の健康・安全の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問いの箇所数 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数	・学習した成果を実生活や実社会に生かすこと及び運動やスポーツの習慣化を図ることについて留意する。 ・自己の健康の大切さを認識し、健康・安全の保持増進や回復等に主体的に取り組み、健康で豊かな生活を営む態度が身に付くように留意する。 ・現在及び将来にわたって健康で活力に満ちた楽しく明るい生活を営む態度が身に付くよう留意する。

調査方法

種目名【 保健体育 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・運動やスポーツとの多様な関わり方（楽しみ方）や「する・みる・支える・知る」について扱っている箇所数について調査を行う。 （例）運動やスポーツの価値、文化的意義、領域が有する特性や魅力、運動実践につながる態度の形成、生涯にわたる豊かなスポーツライフ、健康・安全の留意点について記載されている箇所 ・健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性について取り扱っている箇所数について調査を行う。 （例）より効果的に体力を高めること、習慣的に運動やスポーツを行うことの意義や例示の箇所 ・心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容の箇所数について調査を行う。 （例）・科学的な根拠をもとに説明されている実験結果や、統計、学校医など専門家の話で理解を促す内容が記載されている箇所 ・運動と健康の関連について具体的に記載している箇所 ・心肺蘇生法の技能について記載している箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）「自分の生活を振り返り、〇〇について課題発見しよう。」、「〇〇についてどんな方法があるか考えてみましょう。」「〇〇の理由について具体的に説明しましょう。」など、自他の課題を発見したり、学習したことを活用・選択し、判断したり、日常の生活体験から自分の考えを説明したりする活動が記載されている箇所 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数について調査を行う。 （例）科学的根拠を基に、説明されている実験結果や、統計、学校医など専門家の話で理解を促す内容が記載されている箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような共生の視点の箇所数について調査を行う。 （例）・ルールやマナー、態度、「する・みる・知る・支える」、喜びに関わる写真の箇所 ・自己の健康・安全に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問いの箇所数について調査を行う。 （例）「病気の予防で学習したことを生かして、次のことについて考えてみましょう。」など問題に設定されているものや、「学習のまとめ」コーナー等で学んだことを活用している事例を紹介している箇所 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）思春期に起こる体の変化など、吹き出しや専門家の話等で自分の体の変化を肯定的に捉えられるような内容が記載されている箇所
デジタル教材について	・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・理解を深める内容となっているか調査を行う。

調査結果 保健体育

	観点A			観点B		観点C		
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
調査研究事項 発行者	りるり運動 扱・方（や っ支へス っえ楽スポ る・知しー 箇方ツと 数ー）やの につず様 いてな て・関 取みわ	扱を健康 っ高や つめて いる体 箇要の 所性状 数に況 つに いで てじ 取り り体 力	の健康心 技レ課健 能にス題康 関対のや す処解疾 るや決病 内心にの 容肺関予 の蘇わ防 箇そるに 所生内関 数法容す 等、る	取す題身 りる資近 上課料に げ題をし てを用日常 い解い話生 る決て合活 箇す健いの 所る康や体 数学、験 習安思や 活全考事 動にを例 を関促を	て真ど実 解やを踐 説図取的 し、り理 たグ上解 りラげを しつた促 て、りす いる表、た 箇なコめ 箇どらに 所をム実 数用、験 い写な	な方運 共を動 生共や の有ス 視すポー 点ること 箇が多 数で様 きな る楽し うみ	事にやや自 例活回己の や動復の健 問すのの健 いるた健康 のよめ康・ 箇さに・安全 所主安全に 数気体の関 付的の関 く、保す よ協持る う働増取 な進組	なな身 内ど近 容をな を肯健 取定の康 りのや 上に心 げてえの いら発 るれ育 箇る・ 所よ発 数う達
東京書籍			○	○			○	
大日本図書	○	○			○			
大修館			○		○	○		
Gakken				○	○	○		

※発行者の特長である項目について、発行者ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 保健体育	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・心の健康や疾病の予防に関する内容等様々な健康課題に対する情報が掲載されており、「命や健康を守る」ためのスキルが身に付くように工夫されている。 ・健康で安全に生活するために、生涯にわたって役立つ技能が「巻末スキルブック」としてまとめられており、リラクセーションや心肺蘇生の方法等の実習で活用できる内容や日常生活で活用できる内容が掲載されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・学習の過程にそって、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の順で紙面が構成されている。「活用する」では、日常における生活体験を題材にして、学んだ内容を活用してより深く考え説明したり、話し合ったり、まとめたりできるよう工夫されている。 ・「〇〇はどうなっているのでしょうか」「〇〇について考えてみましょう」といった、課題を発見したり、学んだことをさらに深めたりするような発問が数多く提示されており、生徒の思考を促す工夫がある。	
C 学びに向かう力、人間性等	・学習の最後に設けられている「広げる」では、学んだことを生かして、健康・安全の保持増進のために、自分の生活を振り返り、これからの生活における実践意欲を高めるような問いかけがなされている。 ・運動やスポーツには、「する・見る・支える・知る」という多様な楽しみ方があることを、言葉とともに写真を掲載することで具体的に理解できるようにしたり、様々な職業に従事している人の話を紹介したりして、自分自身と結び付けて考えられるように構成されている。	

デジタル教材について	・学習した内容が動画でコンパクトにまとめられており、理解を深めることができるようになっている。またワークシート等を活用することで他者と考えや意見を共有できるように工夫されている。 ・様々な運動や健康に関わる専門家へのインタビュー動画を視聴でき、運動やスポーツに関わる態度や多様な楽しみ方を知ること、生き方に触れ、将来に生かすことができるよう工夫されている。
------------	---

種目名 保健体育	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・教科書の左のページに本文を、右のページに本文の内容をより理解できるような資料やイラスト、表、写真等を用いた解説が記載されており、生徒が知識を習得しやすいように工夫されている。 ・「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」における資料には、運動やスポーツがもたらす効果について掲載されており、健康を保持増進する上で、体力を高める必要があることを生徒が理解できるよう工夫している。	
B 思考力、判断力、表現力等	・巻頭に「1時間の学習の主な流れ」が示されており、学習の過程のうち、導入の活動に取り組む際に活用する「つかもう」の欄は、日常生活の体験を振り返る発問によって、課題が発見できるよう工夫されている。また「話合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」では、資料を読み取ったり、考えを伝えたりしながら課題を解決できる活動が示されている。 ・生徒の日常の場面を想起できるような写真やイラストが用いられており、学習内容が自分事として捉えやすく、実践的理解につながる工夫がされている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・「活用して深めよう」の欄では、学習したことを活用すると同時に、健康・安全に関する内容について自分の生活を振り返り、これからの生活につなげるような課題に取り組めるよう発問が工夫されている。 ・運動やスポーツへの多様な関わりについて、口絵や資料、コラムなどで紹介している。また、スポーツを通して身に付けるマナーや態度、喜びを分かち合ったり、称えあったりできるような共生の視点を学べるように工夫がされている。	
デジタル教材について	・学習に役立つウェブサイトが紹介されており、学びをさらに深めたり、広げたりできるよう工夫がされている。 ・「まとめの問題」で、学習内容を確認できるようになっている。	

種目名 保健体育		発行者名	株式会社大修館書店
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	・心の健康に関する内容について、イラストで分かりやすく示されており、得た知識を実生活で活用できるようにする工夫がある。ストレス、欲求不満、スポーツと心のつながりについて詳しく記述されており、心の健康を保持増進するための知識が身に付くよう工夫されている。 ・本文で学んだことに関連した様々な情報をまとめた「特集資料」のページがあり、興味関心に応じて発展的な知識が得られるようになっている。		
B 思考力、判断力、表現力等	・学習過程を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という順番で構成されており、「つかむ」の段階で活用する「課題をつかむ」の欄では、これまでの経験や学習を思い出しながら問題を解いたり、意見を出し合ったりすることで、生徒の気づきが生まれるように工夫されている。 ・人物のイラストが随所に配置され、吹き出しのセリフで学習の視点を示したり、思考を促す問いを発したりしている。また、コラム等で、生活に関連する情報が掲載されており、学んだ知識を生活に生かせるように工夫されている。		
C 学びに向かう力、人間性等	・年齢や障害の有無等をこえて運動やスポーツを行う意義を生徒が理解できるような写真が多く掲載されている。 ・学習過程の「まとめる・振り返る」に位置付けられた「学習のまとめ」には、学習したことをこれからの生活に活用するように促す発問があり、実践意欲が高まるように工夫されている。		

デジタル教材について	・教科書に掲載されている資料を動画として視聴でき、理解を深めることができる。コンテンツのワークシートを用いることで他者と思いや考えを伝えたり、共有したりできるように工夫されている。 ・クイズ形式で、学習したことを確認したり、振り返ったりできるようになっている。また、学習に役立つウェブサイトが紹介されており、学んだことをさらに深めたり、広めたりできる工夫がある。
------------	--

種目名 保健体育	発行者名	株式会社G a k k e n
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・「実習」のページでは、一つひとつの項目が具体的に記載されており、技能の定着につながるよう配慮されている。 ・各章末に設けられた「探究しようよ!」では、運動やスポーツ、健康課題について学んだことを生かし、課題をみつけて取り組むことができるよう活動が工夫されており、生活への実践につながる内容になっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・1時間の主な流れが丸囲みの数字で示され、導入時には「ウォームアップ」が設定されている。「ウォームアップ」では、事例や情報をもとに課題をみつけることで、思考を促す工夫がされている。身に付けることや考えたり判断したりすることを確認する「学習の課題」では、【わかる】と【考える】で発問を分け、理解する内容と考える内容が整理されている。 ・「エクササイズ」では、日常生活の体験や事例を題材に、学んだことを生かして、調べたり、話し合ったりする活動が示されている。終末の「学びを生かす」には、「～を発表してみましょう」等、仲間と意見を交流することで思考を働かせたり、自分の考えを見直したりする活動が設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・学習の最後に「とりくメーター」が掲載され、生徒が1時間の取り組み度合いを記録することで主体的に取り組めたか振り返ることができるようになっている。 ・保健体育の学びがウェルビーイングの向上につながり、自らの価値観や生き方を考えるように示されている。	

デジタル教材について	・学習に役立つデジタル教材が単元ごとにまとめて掲載されており、教材を選びやすくなっている。 ・ワークシートが掲載されており、活用することで学んだ内容を振り返ることができ、また、個人の生活に生かせる個別最適な学びにつながるものになっている。
------------	--

技術・家庭（技術分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

観点の内容

技術・家庭科（技術分野） 目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての科学的な原理や法則、基礎的な仕組みについて取り上げている箇所数 ・製作や栽培又は飼育、検査・点検等ができる技能について取り上げている箇所数	・これまで開発され生活や社会で利用されてきた技術について、その仕組みと関係する科学的な原理・法則の理解と、それらに係る技能の習得を図ることに留意する。 ・製作、制作、育成、調理等の実習の指導において、機器類、刃物類、引火性液体、電気、ガス、火気などを扱うため、安全の保持に十分留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・生活や社会の中にある技術に関わる問題について取り上げている箇所数 ・課題を設定し解決する一連の学習過程について取り上げている箇所数	・技術分野として解決を目指す問題の範囲が、身近な生活といったものだけでなく産業等も含めた社会にあることに留意する。 ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図や回路図、計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善することのできる力を育むことができるよう留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・問題解決とその過程を振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方について取り上げている箇所数 ・環境や経済、社会と技術との関わりやよりよい生活、持続可能な社会の構築に関して取り上げている箇所数	・技術分野として育成を目指す学びに向かう力、人間性等が、安心、安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために、主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度であることに留意する。 ・社会からの技術に対する要求と、開発・利用時の安全性、自然環境に関する負荷、開発・利用に必要な経済的負担等の相反する要求の折り合いを付け、最適な解決策を考えられるよう留意する。

調査方法

種目名【 技術・家庭科（技術分野） 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる表や図、写真の箇所数について調査を行う。 （例）木質材料の拡大写真、魚の生産量に養殖の占める割合のグラフ、蛍光ランプ中の電子の動きの図などの箇所 ・製作や栽培又は飼育、検査や点検などの技能に関する基礎的な内容を取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）作業手順の流れ・用具の扱い方、安全に関する注意事項などの箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・生活や社会の中にある技術に関わる問題について取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）「考えよう」「問題点を見つけよう」といった問題点を考えさせるための表記や項目などの箇所 ・課題を設定し解決する一連の学習過程について取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）問題解決学習の具体的な学習の流れや実践例などの箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・問題解決とその過程を振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方について取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）評価レポート例、製品等の改善、修正に向けた質問や自宅での活用例の紹介などの箇所 ・環境や経済、社会と技術との関わりやよりよい生活、持続可能な社会の構築に関して取り上げている箇所数について調査を行う。 （例）木材の循環に関する資料、水産生物の生育環境の図、大規模建造物の構造に注目した写真や図、発電方法と環境への影響をまとめた比較図などの箇所
デジタル教材について	・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・理解を深める内容となっているか調査を行う。

調査結果 技術

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項 発行者	所仕のギ材 数組科―料 み学変、 に的換加 つな及工 い原び、 て理情生 取り報物 り法の育 上則技成 げ、術、 て基にエ い礎つネ る的いル 箇なて	て等製 いが作 るでや 箇き裁 所技又 数能は に飼 つ育、 いて検 取り査 ・ 上げ点 げ検	所る生 数問活 題や に社会 いの て中 取りある りある 上げ技 て術 い る関 箇わ	数過課 程題 にを つ設定 いてし 取り解 り決 上げす る一 連の 箇学 所習	に改問 つ善題 い、解 て修決 取り正 りやそ 上げ生 てへの 箇活過 所程を 数活振 の用り 仕返 方、	箇会り環 所のや境 数構よや 築より経 に済、 関し生、 て社会 取りと り持技 上げ術 て可 い能 なとの る関 るわ
東京書籍			○	○		○
教育図書		○			○	○
開隆堂	○		○		○	

※発行者の特長である項目について、発行者ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 技術・家庭科（技術分野）		発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	- 各章の内容に関連する資料を見開きのページに掲載した「技術のとびら」に科学的な原理・法則等がまとめられており、学習内容をより深めることができる。 - 問題解決をするために必要な技能やそれらの技能を使った実践例が「TECH Lab」のページとしてまとめられており、取り組む課題に応じて、習得した技能を適切に活用できるよう工夫されている。		
B 思考力、判断力、表現力等	- 学習課題の前に「レッツスタート」という活動が示されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。また、「考えてみよう、話し合ってみよう、調べてみよう、やってみよう」と呼びかける言葉を示し、生徒が主体的に調べたり、仲間と協働して比較・検討したりすることで、探究的な学びが実現できるよう工夫されている。 - 問題解決例には、具体的な事例をもとに「問題の発見、課題の設定」「解決策の構想」「評価、改善・修正」「新たな問題の発見」の流れが示され、生徒が自ら問題解決に取り組むことができるようになっている。		
C 学びに向かう力、人間性等	- 内容ごとに、「未来のTechnology」として、技術ガバナンス（技術を評価し、選択、管理・運用する力）、技術イノベーション（技術を改良、応用する力）について考えを深めるためのワークシートが掲載されている。また、学習の最後に「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」という欄を設けることで、生徒自らが学びを確認し、次の学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「技術の匠」という欄に技術に携わる人からのメッセージが掲載されており、社会と学習とのつながりを意識できるようになっている。さらに、技術の学習をさらに深めたり調べたりすることができるよう、「すごいぞ！技術」として、社会問題に取り組む技術が紹介されている。		
デジタル教材について	- ほぼ全ての見開きページの右上に二次元コードが示されており、生徒が興味をもった内容についてさらに学びを深められるよう多様なコンテンツを利用できる。 - 学習内容に関わるクイズや基礎技能を確認できる動画、思考を広げ整理できる思考ツール、何度でも試行錯誤できるシミュレーションなどのコンテンツが掲載されており、個別最適な学び、協働的な学びなどに活用することができる。		

種目名 技術・家庭科（技術分野）	発行者名	教育図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる図や写真が大きく掲載されている。また、視認性を高めるために重要語句が青太文字になっている。 ・安全や衛生に配慮して活動に取り組むことができるよう、技術分野全体に関する安全のページや、各編ごとの安全のページが設けられている。 ・教科書本体以外に基礎的な技能についてまとめた別冊（スキルアシスト）が用意されており、実習での作業手順や資料が数多く掲載されている。別冊を活用することで、生徒が必要に応じて個々に確認し、確かな技能を身に付けることができるように工夫されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・各編に「考えてみよう」や「やってみよう」という項目が設けられおり、身近な問題や技術の発達によって生じたプラス面の例とマイナス面の例をもとに、自らも他の技術について自分なりに考えられるようになっている。 ・巻末に「設計・計画（育成）シート」が用意されており、見本も提示されていることで、表現することに難しさを感じる生徒も設計や計画を記入しやすいよう配慮されている。また、身近な問題解決の事例が生徒に親しみのある漫画で示されており、生徒自身が主体的かつ段階的に技術による問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・学習のまとまりごとに、導入には「めあて」と「キーワード」が、終末には「振り返る」の項目が設定されており、生徒が毎時間見通しをもって学習に取り組み、自らの学びを振り返ることができるよう構成されている。また、「見つける」として、生徒の疑問や関心が対話式のイラストで掲載されており、学習への意欲が喚起されるよう工夫されている。 ・様々な製品に込められた技術についてのコラム「スゴ技」や技術者からのメッセージ「技ビト」では、ものづくりにおける工夫や創造することの大切さ、製品を作り出す責任や倫理観などが掲載されている。	
デジタル教材について	・動画は手元を拡大するなどして、作業の様子がわかるようになっており、作業場面ごとに短時間で視聴できる。 ・サンプルプログラムを活用することで、生徒が自らプログラミングの手順やしくみを確かめたりプログラムを改良したりすることができる。	

種目名 技術・家庭科（技術分野）		発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	・技術の科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる図や写真が数多く掲載されている。中でも写真数が多く、サイズも大きいため実際の物や場面をもとに生徒が学習内容を理解しやすくなるよう工夫されている。 ・作業の内容を示したページには「安全」に関するマークが多く配置されており、事故の未然防止に向けた配慮がみられる。また、作業をしている人物の視点から撮影した写真が使用されているなど、生徒が手もとの安全に留意できるように工夫されている。		
B 思考力、判断力、表現力等	・「学習課題」を具体的に示すことで、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができるような工夫や、実験などを通して科学的な視点を育てる配慮がされている。また、技術の見方・考え方で既存の製品等を読み解き、最適化に向けたさらなる改善点を考えた例をもとに、自らの課題についても考えを進めるページが設けられている。 ・見開きで示された実習例では、問題解決の流れを「問題の発見と課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（制作、育成）」「成果の評価と改善」として手順や考え方を明確に示すことで、活動に取り組みやすくしている。		
C 学びに向かう力、人間性等	・学習のまとまりごとに振り返りの視点を具体的に示した「CHECK」という欄が設けられている。また、実習後に問題解決の評価・改善を行うことができるよう、「問題解決の振り返りシート」が記入例と共に示されている。 ・環境について考える内容にマークが付けられており、持続可能な社会の構築を意識できるようになっている。また、各内容の最後に特設ページとして、社会で活躍している技術者等のインタビューが掲載されており、技術に関係する仕事に興味をもち、学習内容と社会とのつながりを意識しながら学ぶことができるよう工夫されている。		
デジタル教材について	・コンテンツの目次が教科書の目次と連動しており、観たいコンテンツを容易に探すことができる。 ・教科書に記載されている「学習課題」と「CHECK」の欄を含む学習の流れに沿ったコンテンツが充実している。		

技術・家庭（家庭分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

観点の内容

技術・家庭科（家庭分野） 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解に関わる資料の箇所数 ・調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数	・家族・家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容を取り上げ、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るために、調査や話し合い活動を取り入れ、生徒が主体的に考えられるよう留意する。 ・実践的・体験的な活動を重視した学習を通して、一定の手順や段階を追って身に付けるだけでなく、自分の経験や他の技能と関連付けながら主体的に活用できる知識・技能として習熟・定着させるよう留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・家庭や地域で活用するための教材や学習活動を設定している箇所数 ・問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	・「生活の課題と実践」において、家族・家庭生活や衣食住の生活、消費生活・環境で学習した内容との関連を図りながら課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域で行うことができるよう留意する。 ・問題解決的な学習においては、解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、考察した意見を他者と交換する活動を通して、多角的に検討できるよう留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・幼児や高齢者などとの関わり、日本の生活文化の継承、豊かな生活の創造、将来の家庭生活や職業との関わりについて取り上げている箇所数 ・各教科等の内容や、道徳の内容、小学校での学習内容と関連をもたせた指導に関する内容が設定されている教材の数	・身に付けた資質・能力を活用して、家族と協力し、地域の人々と協働しようとする態度、日本の生活文化を継承しようとする態度、生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度、将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとするなどの実践的な態度を養うことができるよう留意する。 ・各教科や道徳等の指導内容との関連を図るとともに、小学校家庭科や高等学校家庭科における学習と系統立てて、生徒の生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるよう留意する。

調査方法

種目名【 技術・家庭科(家庭分野) 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・ 家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解につながるグラフや表・図・写真・資料の箇所数について調査を行う。 (例) 幼児と中学生の体型の比較図、食品の成分グラフ、住まいにおける地震対策の図、繊維の拡大写真などの箇所 ・ 調理や製作などの技能の定着を図る内容(作業手順の流れ・用具の扱い方など)を取り上げている箇所数について調査を行う。 (例) 食材の切り方、計量の仕方、スナップのつけ方、ミシンの取り扱い方などの箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・ 家族・家庭や地域で活用するための教材や学習活動の箇所数について調査を行う。 (例) 調理例、作品例、発展、探究、実習、考えてみよう、調べてみよう、やってみよう、挑戦しようなどの箇所 ・ 問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数について調査を行う。 (例) 問題解決学習の事例、話し合おうなどの箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・ 幼児や高齢者など家族や地域の人々との関わり、日本の生活文化の継承、豊かな生活の創造、将来の家庭生活や職業との関わりについて取り上げている箇所数について調査を行う。 (例) 幼児・高齢者とのふれあいや日本の伝統文化に関する資料、プロへのインタビューなどの箇所 ・ 各教科等の内容や、道徳の内容、小学校での学習内容と関連をもたせた指導に関する内容が設定されている教材の数について調査を行う。 (例) 他教科や道徳、小学校の学習と関連がある箇所
デジタル教材について	・ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・ 理解を深める内容となっているか調査を行う。

家庭

※発行者の特長である項目について、発行者ごとに3つずつ〇印を付しています。

技術・家庭科（家庭分野）	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・生徒の発達段階に応じて学ぶことができるように「A 家族・家庭生活」の題材が分散して配列されている。 ・調理や製作等の技能の定着を図る「いつも確かめよう」では、調理の基礎や製作の手順が写真を使って分かりやすく示されている。作業をしている手もとが写っており、道具の持ち方等を確認できることで、生徒の理解が深まるよう工夫している。 ・実習例では、調理の手順を時間の経過とともに分かりやすく示している。また、実習で扱う料理と組み合わせる料理を献立で調理する場合の手順例も合わせて示されているため、効率よく調理を行うための技能の定着を図ることができるように工夫されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・家庭分野のガイダンスの教材として、巻頭に「自分の生活チェック」のページがある。第1学年の最初と3年間の学習後にチェックしてグラフにすることで、自分の生活に対する行動の傾向等が確かめられ、3年間の学びを振り返ることができるようになっている。 ・学習のはじめの「レッツスタート」の活動をもとに「学習課題」が提示され、学習の最後の「まとめよう」や「生活に生かそう」でまとめの活動を行うという一連の流れが見開きで設定されており、学習の見通しがもちやすい。また、自分の生活を振り返り、課題を設定し、実践的な活動を家庭で行うことができるように構成されている。 ・自分で内容を選択して実践するための教材である「生活の課題と実践」では、レポートの具体例が示されており、生徒が実践をイメージして取り組めるように工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・各編の最後に、持続可能な社会の構築に向けた内容がまとめられている。また、巻末には、家庭分野に関わるSDGsについてまとめられており、情報を整理して提示することで学習が深まるようにしている。 ・学習していることと、他教科等や小学校家庭科との関連が分かるようにリンクマークを用いて示している。	
デジタル教材について	・動画やシミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料、WEBサイト、他教科の教科書紙面等、多種多様なデジタルコンテンツがある。 ・「バランスのよい献立作成」では、栄養バランスが自動で計算・グラフ化され、学習の導入の「問題発見、課題の設定」で活用できるようになっている。 ・学習を振り返る「自己評価チェックシート」には、自己評価に加えてこれからの生活に生かしたいことを書き込むことができるようになっている。 ・動画資料は、再生、停止、速度、ボタン位置の切り替え、繰り返し再生および、字幕の機能等がある。また、技能の定着を図るための包丁の使い方等については、右利き、左利き用のそれぞれが準備されている。	

技術・家庭科（家庭分野）	発行者名	教育図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・調理や製作の実習について、写真やイラストを縦に並べて手順を示されている。 ・調理のめあてにつながる問いやその答えが「Q」「A」のマーク付きで分かりやすく示されており、生徒がなぜその作業が必要であることを理解した上で技能を習得できるように工夫されている。また、蒸し器がない場合の対処方法を示す等、生活様式に合わせて実践できる知識及び技能を得られるように工夫されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・調理や製作実習の応用例や工夫を促す資料等があり、生徒のニーズに合わせて活用することができるようになっている。特に、布を用いた製作では、製作したいものの大きさを書き込める欄があるため、必要な布の大きさを考え、目的に応じて製作できる題材になっている。 ・各編の最初には、「自立度チェック」の欄が設けられており、自分自身の生活の中から問題を見いだすことができるように工夫されている。 ・各章の終末に「学びを生かそう」というページが設定しており、その章で学習した内容を振り返り、自分自身の生活上の課題と結び付けて、問題解決の方法について学ぶことができるように工夫されている。また、家庭での実践につながる複数の例と記録レポートの例が掲載されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻頭には、日本の伝統的な年中行事や、衣食住に関わる多様な写真やイラストが掲載されており、伝統的な文化について考えられるようになっている。 ・「持続可能な社会の構築」に向けて、見開きでまとめることで生活とSDGsのつながりをイメージしやすいように工夫している。 ・各編の最後に「センパイに聞こう!」という内容が位置付けられ、学習したことを自分の将来と結びつけて考えられるようにしている。	
デジタル教材について	・コンテンツの表示がシンプルであり、リンク先の情報を表示する等、どのような情報が得られるかが一見して分かるように工夫されている。 ・題材の導入に活用することができる「ワークシート」があり、学びの動機付けとなるようにしている。 ・「献立バランス計算ソフト」は、教科書の巻末の「学習シール」と連動しており、食品群別のバランスを確認できるとともに、食品群別摂取量を自動的に計算し、グラフ化されることで、各食品群の過不足が視覚的に理解できるようになっている。 ・動画資料は、再生、停止、10秒戻し、10秒送り、消音等の機能がある。	

技術・家庭科（家庭分野）		発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	・「目に見えない栄養素を見てみよう」等、生活の中では形として見えない内容について、実験の様子を写真やイラストで視覚的に分かりやすく示し、科学的根拠に基づいて理解できるようにしている。 ・調理の実習例のページでは、調理の手順が写真を横に並べて提示されている。また、科学的な理解を深める「調理方法Q&A」の欄が設けられており、調理方法についてなぜそのようになっているのか考え、確実な理解につながるように工夫されている。 ・調理の基礎の「切る」では、材料に応じた様々な切り方が、写真と破線で分かりやすく示されている。		
B 思考力、判断力、表現力等	・調理例や作品例に「伝統」「防災」「環境」の観点が取り入れられており、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、調理や製作に取り組めるようにしている。アレンジ例も掲載されている。 ・具体的な生活場面を示す写真やイラスト等から日常を見つめ直し、自分自身の課題を発見できるように工夫されている。各編の終わりに「学習のまとめ」を設定し、既習内容を振り返って、新たな目標や課題を見つけられるように工夫されている。 ・「生活の課題と実践例」のページには、課題解決の流れに沿って例が示されており、生徒が実践の流れをイメージして、主体的に学習を進められるようにしている。		
C 学びに向かう力、人間性等	・「A 家族・家庭生活」では、ジェンダー、LGBTQなど多様な性、ヤングケアラー、児童虐待など現代の社会的な問題に関わる内容について、事例を取り上げて様々な視点から考えが深められるように取り上げられている。 ・「防災」に関する内容を「B 住生活」でまとめて取り上げ、平常時、災害発生時、災害後について、過去の災害の経験から学び、生活を見直し改善できるように取り上げている。 ・他教科や道徳との関連はページ右上にマークで示されているため、学習内容を他教科の学習や生活と結び付けて理解し、生かせるようになっている。		
デジタル教材について	・「ダウンロード」ボタンがあり、ワークシートや資料の画像等が端末に保存できる。 ・学習のまとめとして「自己評価チェックシート」があり、短時間で自分の学びを振り返ることができる。 ・動画の中には、NHKや消費者庁が作成している資料が含まれており、生徒が多様な情報に触れ、学びを深めることができるようになっている。 ・動画資料は、再生、停止、10秒戻し、再生速度、消音等の機能がある。また、技能の定着を図るための野菜の切り方等については、右利き、左利き用のそれぞれが準備されている。		

英 語

東 京 書 籍

開 隆 堂

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

観点の内容

外国語科 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・「聞くこと」「読むこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数 ・「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数	・言語材料のうち、五つの領域別目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉える言語活動の箇所数 ・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する言語活動の箇所数 ・日常的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う言語活動の箇所数	・具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に表現することができるよう留意する。 ・言語活動を行うに当たり、言語の使用場面や言語の働きを取り上げるよう留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・主体的に取り組むことができるよう、段階的に設定された言語活動の箇所数 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような題材設定の箇所数	・生徒が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりするなど、様々な手立てを通して生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をするよう留意する。 ・英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるよう留意する。

調査方法

種目名【 英語 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・「聞くこと」「読むこと」における技能別（領域別）活動の箇所数について調査を行う。 （例）ListenやQ and A等の技能別（領域別）活動の箇所 ・「話すこと〔やりとり〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」における技能別（領域別）活動の箇所数について調査を行う。 （例）SpeakやWrite等の技能別（領域別）活動の箇所
B 思考力、判断力、表現力等	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉える言語活動の箇所数について調査を行う。 （例）現在ヒットしている5本の映画についての情報を聞き取るなどの言語活動の箇所 ・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する言語活動の箇所数について調査を行う。 （例）地球にやさしいエネルギー源について書かれた資料を読み、一番よいと思う発電方法を選び、理由も含めて発表するなどの言語活動の箇所 ・日常的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う言語活動の箇所数について調査を行う。 （例）夢の世界旅行について考え、自分の行きたい国とそこで何をしたいかを伝え合うなどの言語活動の箇所
C 学びに向かう力、人間性等	・主体的に取り組むことができるよう、段階的に設定された言語活動の箇所数について調査を行う。 （例）メールの書き方について、モデル文を理解した後、メールに使える表現を選び、それらを活用してメールを書く等の言語活動の箇所 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような題材設定の箇所数について調査を行う。 （例）アメリカでのホームステイ、世界に広がる日本食文化、世界で活躍する日本人、環境問題等が題材として設定されている箇所
デジタル教材について	・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・理解を深める内容となっているか調査を行う。
デジタル教科書	・書かれている英文等について、語彙や表現の習得が可能となる機能の有無について調査を行う。 （例）音声と同時に文字の色が変わる機能や、マスク機能等 ・使用場面が設定された言語活動等について、より内容が理解できる動画の有無について調査を行う。 （例）音声の速度を調整する機能や、英文の表示・非表示の選択機能、アニメーション動画等の再生機能等 ・書き込んだ内容に基づいて交流することにより、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた内容に再構築することを促すことができる書き込み機能の有無について調査を行う。

調査結果 英語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	聞いたこと （読むこと） 活動の	のどす 聞いたこと 「やりとり」 「書くこと」 活動の	捉りつ日常 えしてて的 る必要英語 言語をや 活動の報 箇所や社会 数考りな えん読話 どをん題 をだに	表実用りつ日常 現やししい常 す自、てて する分話得、な 言のしら英語 語考たれ語題 活えりたをや 動、書情聞社会 の気い報い社会 箇持たやた的 所ちり表りな 数なし現読話 どてをん題 を事活だに	言の書内容日常 語考いた常 活えたを的 動、り整な の気し理話 箇持てし題 所ち互、に 数ない英つ どに語い を事で 伝実話、伝 えやし、伝 合自たえ う分りる	がよ主 さう体的 れな た段に 箇階取 所的組 数なむ 言こと 語活 と動 が で 設 き 定	設面際ける外 定の貢入理国 さ思献れ解語 され考なるの たがど寛深背 箇での容め景 所き精神の、 数る神精、他 よを神者ある う獲やを文化 な得平配化 題し和慮に 材、・し対 が多国受す
東京書籍	1年生		○		○			○
	2年生		○		○		○	
	3年生		○		○		○	
開隆堂	1年生		○				○	○
	2年生	○		○			○	
	3年生	○		○		○		
三省堂	1年生		○		○	○		
	2年生		○			○		○
	3年生		○		○	○		
教育出版	1年生	○		○	○			
	2年生	○		○				○
	3年生	○		○		○		
光村図書	1年生	○		○	○			
	2年生			○	○	○		
	3年生			○	○			○
啓林館	1年生			○		○	○	
	2年生		○			○	○	
	3年生		○			○	○	

※発行者の特長である項目について、各発行者の学年ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 英語	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・掲載されている言語材料を十分に活用できるよう、本文の内容に関係した対話をしたり、自分自身について表現したりする活動が設定されている。 ・本文で学んだ語彙や表現、文法事項が定着するように、音読を促したり、他者とやり取りしたりする構成となっている。 ・学んだ文法事項の意味や使い方等を確認するページがある。また、確認した文法事項を使ってパターンプラクティスができるようになっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・単元のはじめに「Preview」の動画があり、それを視聴することで、目的や場面状況等を把握しやすくしている。「Read and Think」では、生徒が長文の内容を段階的に理解していけるよう、3つのステップが組まれている。 ・ページ最下部に、相手意識をもって意見や考えをやり取りしたり、書いたりする活動場面が設定されている。 ・多くの単元の終末に「Unit Activity」や「Stage Activity」があり、思考を働かせながら、思いや意見を発信する活動が設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・様々な国の多様な情報を扱っており、生徒が興味関心をもつことができるようになっている。 ・「Real Life English」では、実生活で遭遇するような具体的な場面が設定されており、主体的に英語を使用することができるようにしている。	
デジタル教材について	・二次元コードからデジタル教科書で扱っているものと同様の資料、動画、クイズ等のコンテンツにアクセスすることができる。 ・用例辞典が搭載されており、検索したい言葉を入力すると、学習する学年や教科書に示されている用例を調べることができる。	
デジタル教科書	・「Key Sentences」に関わるクイズが掲載されており、学習内容が定着しているかを確認することができる。 ・聞く箇所を選択したり、音声の再生スピードを調整したりすることができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞くことができる。 ・生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

種目名 英語	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・その時間に学習することの問いが、日本語で示されており、英語が苦手な生徒もポイントを踏まえて、本文を聞いたり、読んだりできるよう工夫されている。 ・すべての単元がマンガ形式の導入で、場面や状況を想像しながら、新出表現に着目できるようにしている。また、知識が定着するような練習問題が設定されている。 ・ページの最下部に、発音の仕方について、日本語にない音や注意して発音すべき音、強調して発音すべき部分がわかるように記載している。また、小学校で学んだ単語や既習事項を想起できるような提示の仕方を工夫している。	
B 思考力、判断力、表現力等	・単元の終末に設定されている「Review and Retell」では、本文の内容を振り返り、自分の言葉で伝える活動が設定されている。 ・単元で学習した内容や既習表現の定着が図れるよう、本文の題材に関連した自己表現活動「Action」が設定されている。 ・対話やスピーチ等を聞いたり、読んだりして、情報を整理した上で、自分の考えを伝えたり、やり取りしたりする「Our Project」が毎学期末に設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・各単元につき2～3回程度「Small talk」が設定されている。本文の内容や日常生活に関連した話題が豊富に提示されており英語で話す意欲が高まるような工夫がされている。 ・生徒の発達段階に応じて、興味関心をもって学ぶことができるような文化や時事、社会の課題に関わる話題が取り上げられている。 ・「Our Project」では、ゴールに向けて、ポスターセッション等の活動を通して、主体的に取り組むことができるような活動が設定されている。	
デジタル教材について	・二次元コードから単語学習アプリに移ることができる。出題のパターンが豊富で自分に適した内容を選んで学習することができる。 ・「Our Project」にはモデル動画が掲載されており、既習内容をどのように活用すればよいかを確認できるようになっている。	
デジタル教科書	・単語アプリがあり、各学年の新出語彙等をクイズ形式で確認することができる。 ・聞く箇所を選択したり、音声の再生スピードを調整したりすることができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞いたり、練習したりすることができる。 ・生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

種目名 英語	発行者名	株式会社三省堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・各単元に基本的な技能の定着を図る「Exercise」が設定されており「聞くこと」および「書くこと」や「話すこと」の活動を通して、文法事項の定着を図ることができるようになっている。 ・1つの単元に2つ程度、Small Talkの話題が提示されており、既習の語彙や表現を活用することで知識や技能を定着できるようになっている。 ・各単元の導入に、聞く活動が設定され、小学校で培った聞く力を生かして中学校の学びにつなぐ構成になっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・単元終末の「Goal Activity」では、考えや意見を整理した上で、話したり書いたりすることができる活動が設定されている ・学期末の自己表現活動として「Project」が設定されており、4技能5領域を統合した活動に取り組むことができるようになっている。 ・単元終末には、関連するテーマについて、まとまりのある文章を書いたり発表したりする活動が設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・様々な国の文化を取り上げたり、公平について考えたりするなど、多様な話題が取り入れられており、他者理解や国際理解につながるよう工夫されている。 ・「For Self-study」という資料で「単語の覚え方」や「相手に伝わる文章にするためのポイント」等の学び方が紹介されている。	
デジタル教材について	・発音図鑑が掲載されており、発音の仕方について、口唇や舌の動きを視覚的に確認することができる。 ・二次元コードを利用して、生徒が個別に音声や動画、発音チェックの情報にアクセスでき、家庭学習等に活用することができる。 ・基本文を学習できるドリルがあり「聞く→繰り返す→言う」の3ステップで繰り返し練習することができる。	
デジタル教科書	・教科書の題材に関連した動画を見ることができ、各単元のテーマに関する内容を映像とともに学ぶことができる。 ・聞く箇所を選択したり、音声の再生スピードを調整したりすることができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞いたり、練習したりすることができる。 ・生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

種目名 英語	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・ 文法事項について、取り上げた英文の仕組みを品詞等によって色分けしたり矢印を使って語順を示したりして解説し、視覚的に理解できるよう工夫している。 ・ 各単元は、新出文法が用いられた基本文が提示された後、パターンプラクティスやリスニング問題を設定して、学習した文法事項が定着するように構成されている。 ・ やり取りの活動として設定されている「Activities Plus」では、既習の文法事項を活用して応答する質問が10個程度提示されており、「話すこと」の技能を高める工夫がされている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・ 各学期末の学習活動として、5領域の力を統合的に活用する「Project」があり、既習事項を用いて、ペアやグループなどで互いに考えたことを交流し合う学習活動が設定されている。 ・ 各単元後には、技能を高めるためのコツを示した「Tips」というコーナーがあり、コツを踏まえて考えながら英語を使用することができるようになっている。 ・ 単元末の「Task」では、学習したことを復習したり、活用したりする活動が設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・ 単元の最初のページに、「内容理解」と「活動」の目標が示されており、具体的に何ができるようになればよいかの見通しをもって学べるよう工夫されている。 ・ 各単元の終末には、「内容理解」と「活動」の目標に応じた振り返りがあり、4段階で自己評価ができるようになっている。	
デジタル教材について	・ 多くのページに、二次元コードが掲載されており、音声教材やワークシートなどが目的に応じて活用できるようになっている。 ・ 新出語彙や表現を定着するための「学習シート」があり、家庭学習で活用することができる。また、「活動用ワークシート」を活用して復習できる。	
デジタル教科書	・ 再生、録音機能があり、自分の声を録音してネイティブ・スピーカー等が話す音声と比較しながら練習することができる。 ・ 聞く箇所を選択し、音声の再生スピードを調整することができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞いたり、練習したりすることができる。 ・ 生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

種目名 英語	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・新しく文法事項を学ぶ際には、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の順で学習が設定されている。 ・読み物教材の「Let's Read」では、英語による複数の質問が設定されており、それらに答えながら読むことで、要点が理解できるよう工夫されている。 ・巻末には、本文に沿ったイラストやキーワードを参考にして、既習表現を用いて話す活動が設定されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・アイデアを広げたり、整理したりする「思考の地図」が巻末に掲載されており、目的に応じて活用できるようになっている。 ・「You're the Writer!」という活動を設定し、本文に書き加える内容を考えることで、本文の内容を自分事として考えられるよう工夫している。 ・やり取りを継続したり、自分の思いや考えを表現したりできるように、「その場でスピーキングLet's Talk」が設定されており、短時間の学習として活用できる。	
C 学びに向かう力、人間性等	・各学年3つ程度「World Tour」が付録として掲載されている。様々な国に住む人々の生活等について紹介されているため、多様な文化や価値観を知ることができる。 ・巻末資料の「英語の学び方ガイド」では、領域別の学び方や家庭学習の仕方等が Q&A形式で紹介されており、生徒が目的に応じて活用できるようになっている。	
デジタル教材について	・全Unitに補充用リーディング教材として「Extra Story」が設けられ、本文の続きを聞くことができる。 ・単元のはじめに設定されている「Picture Card 並べかえ」では、本文の音声を聞きながら、提示された絵を並べ替えることで、話の流れを確認できるようになっている。	
デジタル教科書	・本文実写ドラマがあり、字幕を表示したり、消したりすることができる。 ・聞く箇所を選択し、音声の再生スピードを調整することができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞いたり、練習したりすることができる。 ・生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

種目名 英語	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・新しく文法事項を学ぶ際には、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の順で学習が設定されている。 ・欄外に小学校で学習した単語と新出語句ごとに分けて示してあり、獲得すべき知識が一見して分かるように構成されている。 ・各単元のテーマに沿って、即興的なやり取りができる「Enjoy Chatting」が各パートに設定されており、言語材料をすぐに活用できるようになっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・既習の文法事項を活用して自分の意見や考えを発信できるように、各パートの終末に「Express Yourself」が設定されている。 ・単元の終末に、テーマに関わる内容について考えながら読んだり、考えてから発信したりする活動が設定されており、言語活動に継続的に取り組めるようになっている。 ・学習したことを統合的に活用する言語活動として「Project」が設定されており、自分の考えや思いなどを工夫して表出できるようにしている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・単元のゴールとして、「インプット」と「アウトプット」の両方が設定しており、4技能5領域がバランスよく習得できるように工夫されている。 ・巻末に学年の到達目標が掲載されており、自己評価できるようになっている。	
デジタル教材について	・教科書本文の音声等をアニメーション動画やスクリプトを見ながら聞くことができる。 ・新出文法の解説動画を活用し、授業のはじめに前時の復習をしたり、家庭学習に活用したりすることができる。	
デジタル教科書	・聞く箇所を選択し、音声の再生スピードを調整することができ、自分のペースに合わせて繰り返し聞いたり、練習したりすることができる。 ・生徒が、聞いた情報や自分の考え、共有した情報などを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。	

道 徳

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教 出 版

G a k k e n

あかつき教育図書

日 本 教 科 書

観点の内容

道徳科 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	・道徳的価値の理解に関わる学習活動の箇所数 ・現代的な課題に関する内容等多様な教材の箇所数	・道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同様に人間理解や他者理解を深めていくよう留意する。 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって学ぶことができるように留意する。
B 思考力、判断力、表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数 ・多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数	・物事を一面的に捉えるのではなく、生徒自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができよう留意する。 ・生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させることに留意する。
C 学びに向かう力、人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の箇所数 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容を取り上げている箇所数	・生徒が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう留意する。 ・各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導を進めると、指導の効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳科それぞれの特徴が生かされた関連となるよう留意する。

調査方法

種目名【 道徳 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深める教材の数について調査を行う。 (例) コラム、先人の名言等を取り上げている箇所 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応(情報モラル)等の現代的な課題などに関する内容等について調査を行う。
B 思考力、判断力、表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動に資する教材の数について調査を行う。 (例) 友達のいいところ見つけ等、多様な考え方が生まれる活動 ・多様な考え方を生かすための言語活動について、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定した数について調査を行う。
C 学びに向かう力、人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動を設定している教材の数について調査を行う。 ・道徳科と各教科等との関連をもたせた指導、日常生活における実践につなげることができるような設定をしている教材の数について調査を行う。
デジタル教材について	・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。 ・理解を深める内容となっているか調査を行う。

調査結果 道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	道徳的価値の理解に関わる学習活動の箇所数	現代的な課題に関する内容等多様な教材の箇所数	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数	多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの学習活動の目標を見つけたりする学習活動の箇所数	各教科等と関連をもたせた実践との関連に数関する内容をとり上げている箇所
東京書籍	1年生	○			○		○
	2年生	○			○		○
	3年生	○			○		○
教育出版	1年生		○	○			○
	2年生		○	○			○
	3年生		○	○			○
光村図書	1年生		○	○			○
	2年生		○	○			○
	3年生	○		○			○
日本文教出版	1年生				○	○	○
	2年生	○			○	○	
	3年生	○			○	○	
Gakken	1年生	○	○		○		
	2年生	○	○		○		
	3年生	○	○		○		
あかつき教育図書	1年生	○	○	○			
	2年生	○	○	○			
	3年生		○	○		○	
日本教科書	1年生		○	○	○		
	2年生		○	○	○		
	3年生		○		○		○

※発行者の特長である項目について、各発行者の学年ごとに3つずつ○印を付しています。

種目名 道徳	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・ 情報モラルや防災等、様々なジャンルのコラムが掲載されており、道徳的価値の理解を深められるようになっている。また、SDGsと関連する道徳教材が全学年に3つずつ掲載されており、SDGsについて生徒が様々な角度から内容項目と結び付けて考えられるように工夫されている。 ・ 「いじめ」と「いのち」のユニットについては、3年間系統的に学ぶことができるように、それぞれのユニットの学習時期が3学年で統一されている。「いのち」のユニットには、防災に関するコラムがあり、災害に備えるための知識が得られるようになっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・ 学習したことを広げたり深めたりすることができるコラム「Plus」では、体験的な学習として役割演技をする活動や、問題解決的な学習として生徒が問いを立て話し合いながら考える活動を設定する等、生徒の多様な考えが生まれるよう工夫されている。 ・ 各教材の「つぶやき」の欄やユニット教材に設けられている書き込み欄に、自分の考えをまとめたり整理したりして記述することができ、それを基に話し合いにつなぐことができるよう工夫されている。 ・ 巻末に付いている心情円や、二次元コードから読み取れるデジタル心情円は、考えや思いの可視化を図り、話し合い活動を活性化するために活用できる。	
C 学びに向かう力、人間性等	・ 巻末に「自分の学びをふり返ろう」というワークシートが付されており、学期ごとに振り返りができるようになっている。また、来学期の目標を記入できるようになっており、これからの課題や目標を見つけられるよう工夫されている。 ・ 各教材冒頭に、他教科との関連がある教材については、教科名が明記されている。また、巻末の「教材一覧表」には、他教科等の関連に加え、学習の場面で活用できるデジタルコンテンツの機能がアイコンでわかりやすく示されている。 ・ 教材の終末の「見つめよう」では、「～するには、どのようなことが大切だろう」等、学習したことを日常生活にどのようにつなげていくかについて考えることができる発問が掲載されている。	
デジタル教材について	・ 全ての教材に二次元コードが付いており、「朗読」、「ワークシート」は全ての教材に掲載されている。 ・ 他教科に関連する教材の場合、他教科の教科書紙面に移り内容を確認することができる。防災に関しては、VR映像の視聴が可能である。	

種目名 道徳	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・「コミュニケーション」「持続可能な社会」「情報モラル」について全学年でコラムが掲載されているほか、いじめ、防災等現代的な課題を取り上げている教材があり、学んだ道徳的価値について実生活とつなげて考えられるよう工夫されている。 ・「いじめをなくそう」「いのちをかがやかせる」「つながり合って生きる」については、2つの教材とコラムでユニットを組み、重点的に取り扱っている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・「ひろば」というページや教材の中に設定されている書き込み欄は、自分の考えだけでなく友達の考えを書き込んだり、立場を変えて書き込んだりできるようになっており、物事を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・教材の最後にある「学びの道しるべ」では、自分の考えを出し合ったり話し合ったりする活動が示されており、活用することで多様な考えに触れられるようになっている。 ・「やってみよう」というページでは、体験的な活動として役割演技が設定されており、それを基に話し合いにつなげることができるよう工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」のページが設けられており、毎学期の振り返りや1年間の振り返りができるようになっている。心に残った教材を記入することで、主体的に道徳的価値について学んだことを想起できるようになっており、生徒が成長を実感できるよう工夫されている。 ・1年間の学びを基に考える「よりよく生きるって、どういうことだろう？」のページでは、全学年同じ発問に答えるつくりになっている。発問項目は、自分にとっての幸せや周りの人や社会にとっての幸せを考えることを通して道徳科の学びを生活に生かす工夫がされている。 ・教材の初めには、自分を振り返る発問が掲載されている。また、教材の最後の「学びの道しるべ」には、「～していきたいだろうか」等、学習したことを実生活にどのようにつなげていきたいのかを考える発問が設定されている。	
デジタル教材について	・全ての教材に二次元コードが付いており、教材のあらすじを確認できるようになっているため、事前学習に役立てることができる。 ・「まなびリンク」が設定されており、補足資料としてスピーチや動画等、外部サイトに移って学びを深められるようになっている。	

種目名 道徳	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・「人権問題」と「環境」については、各学年でコラムとして取り上げており、SDGsとの関連が示されていたり、扱う内容が学年が上がるごとに身近なものから社会全体に関わるものへと広がっていたり、工夫がある。また全ての学年の付録で「伝統と文化の尊重」を特集として取り上げており、重点的に学べるようになっている。 ・テーマごとに2～6つの教材をまとまりとしており、単発ではなく、関連をもたせて多面的・多角的に考えられるようになっている。特に「いじめ」「情報モラル」については全ての学年で重点的に取り扱われている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・教材の終末の「考えよう」や「見方を変えて」の欄に、思考を深めるような発問が掲載されており、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。 ・巻末には「まなびの道具箱」としてピラミッドチャートやベン図等、自分の考えを広げたり、整理したりするのに役立つ思考ツールが掲載されており、それを基に話し合うことで、多様な考え方に接し、考えを深められるようになっている。 ・「やってみよう」や「チャレンジ」のページでは、体験的活動として役割演技や、問題解決的な学習として問いを立て、話し合いながら考える活動が提示され、生徒の多様な考えを生かすための言語活動が設定されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻末に「まなびの記録」というページが設けられており、1年間のめあてと振り返りを記入したり、毎時間の振り返りを記入したりできるようになっている。1年で自分が成長したと思うことを「道徳で学ぶ22のキーワード」と関連付けて記入できるよう工夫されている。 ・他教科との関連がある教材については、教科名が明記されており、各教科との関連をもたせた指導ができるようになっている。 ・教材の終末に設けられた「つなげよう」の欄には、「学んだこととつなげて考えてみよう」等、学習したことを実生活につなげて考えることができるような発問が掲載されている。	
デジタル教材について	・二次元コードが付いている教材があり、主に心情を考える読み物教材には「朗読」が掲載されている。 ・「資料」や「動画」が掲載されている場合は、教材の内容についての理解を補うための説明資料を見ることができる。	

種目名 道徳	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・ 様々な分野で活躍する人物からのメッセージが「あすへのメッセージ」として掲載されており、授業後に読むことで、学んだ道徳的価値について生徒がさらに考えを深めることができるように工夫されている。 ・ 「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」について2～3つの教材をまとめて学習できるようユニットが組まれている。ユニットは、複数回に分けて学ぶ計画になっており、期間を空けて道徳的価値について何度も考えられるようになっている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・ 「学びを深めよう」というページでは、具体的な道徳的行為の場面を想起して追体験したり役割演技をしたりする体験的な学習活動が設定されており、体験したことを基に話し合いをして、多様な考えに触れられるようになっている。 ・ 各教材の題名の下に、主な登場人物の名前とイラストや写真が掲載されており、具体的な人物をイメージして読めるように工夫されている。 ・ 別冊の道徳ノートがあり、書き込み欄が充実している。発問に対する自分の考えを記入した後、さらに友達の考えを記入できる「自分にプラスワン」という欄や、話し合ったことを自由に書き込むことができるような「自由欄」を設けるなど工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・ 別冊の道徳ノートには「自分への振り返り」の欄があり毎時間の振り返りを記入できる。また、巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」には、学期末に自分の学びを振り返り、成長したと思うこと、これからの自分にプラスしたいことを記入できる。 ・ 「視野を広げて」というコラムには、関連している教科名が明記されており、実生活にどのように生かすかを考えることができるような問いが掲載されている。 ・ 教材の終末に「自分にプラスワン」という欄を設け、「これから大切にしたいことは何だろう」等、学んだことを前向きに生かすための発問が掲載されており、実践につながるように工夫されている。	
デジタル教材について	・ 教科書とノートには同じ二次元コードが付いており、1人1台端末で自分の考えや話し合ったことなどを自由に書いたり入力したりできるようになっている。 ・ 「道具箱」の中には、思考ツールが入っており、自分の考えを整理したりまとめたりする際に活用できるようになっている。	

種目名 道徳	発行者名	株式会社G a k k e n
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・教材の内容項目に関連した情報が書かれた「クローズアップ」というコラムが多数あり、道徳的価値の理解を深めることができるようになっている。 ・「SDGs」「多様性」「キャリア」の学習を重点としており、複数の教材で連続して学べるよう、ユニットとして配置されている。特に「多様性」については、福祉やLGBTQの面から考えを深められるよう工夫されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・話し合い活動を通して、互いの考えの相違点や共通点を見つけ、多面的・多角的に考えることができるよう「深めよう」のコーナーが設定されている。 ・「深めよう」では、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」という順で、考えるための道筋が具体的な発問と共に記されており、生徒が書き込み欄を活用しながら考えを深められるようになっている。 ・各教材の「メモ」欄に、自分の考えを整理したりまとめたりすることができ、それらを基に話し合いにつなぐことができるよう工夫されている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻末には、日々の授業について気付いたことを記録する「学びのメモ」と学期ごとに振り返る「学びの記録」があり、生徒自らが振り返って成長を実感したり、自分が関心のある道徳的価値に気付いたりできるように設定されている。 ・巻頭には、現代的な課題のイラストや写真を基に、自分を見つめ、興味をもっていることを記入することができるページがある。また、巻末には「未来への扉」として学びを振り返りながら未来をイメージして自分の思いを記入できるようなページが設けられている。 ・「考えよう」の欄には2つの発問があり、2つ目には、「できることは何だろう」等、実生活につなげていくにはどうしたらよいかを考えられるような発問が示されている。	
デジタル教材について	・10教材程度の読み物に二次元コードが付いており、動画、写真、年表、ワークシートのいずれかが掲載されている。 ・全学年「思考ツールの使い方」が掲載されており、5つのツールをダウンロードして、考えの整理に活用できるようになっている。	

種目名 道徳	発行者名	あかつき教育図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・「Thinking」と題されたコラムが掲載されており、補助資料として、授業の終末や事後に読むことで思考を深める工夫がされている。「Thinking」の「SDGsの視点から」と「ふるさとに学びを広げよう」というページは全学年にあり、生徒の視野を広げられるようになっている。 ・全ての学年で「キャリア」「情報モラル」「いじめを考える」という複数教材をまとめて考えるユニット学習が組まれており、3年間を通して学習がつながるよう工夫されている。また、第2学年、第3学年には、「共に生きる社会」という共通のユニットがある。	
B 思考力、判断力、表現力等	・教材の終末には「いろいろな見方で考える」という欄があり、自分の考えを1つに絞らずできるだけ多くの考えを出したり、一人の登場人物だけでなく他の登場人物の視点から考えたりできるよう設定されている。 ・1つのテーマについて、複数の内容項目から多面的・多角的に考えることができるよう、目次以外にテーマ別に教材がまとめて掲載されている「いろいろなテーマから学ぶ」というページがある。 ・各学年3つずつ掲載されている「MY PLUS」では、体験的な学習である役割演技が設定されていたり、多様な見方で考えることができるような視点が示されていたりする等、対話的な学びを促している。	
C 学びに向かう力、人間性等	・巻末に「学習の記録」のページが設けられており、毎学期の振り返りや1年間の振り返りができるようになっている。成長を実感したり、自分を見つめこれから行動していきたいことを考えたりできるように設定されている。 ・巻末付録では、SDGsの目標と道徳科の学びの関連を示しており、1時間の学習で終わらず、継続的な学びの機会となるよう工夫されている。 ・教材の終末には、発問とは別に、「自分との対話」という欄が設けられており、自分自身を振り返ることができるよう工夫されている。また、「あなただったらどう思うだろうか」等、自分事として考え、実践につなげることができるような問い方をしている。	
デジタル教材について	・10教材程度の読み物に二次元コードが付いており、文部科学省や警視庁等の外部サイトに移ることができるようになっている。 ・導入動画、終末動画、資料動画と分けて掲載されており、授業で使いやすいよう工夫されている。	

種目名 道徳	発行者名	日本教科書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	・全学年に「古今東西」「わたしたちの郷土」のコラムページがあり、先人の名言に触れながら考えを深められるようになっている。 ・道徳科で取り扱う4つの内容項目に沿って教材が配列されており、各内容項目の最初に扉ページとして四コマ漫画が掲載されている。生徒の身近に起こる内容を基に描かれており、考えを広げるきっかけになるよう工夫されている。	
B 思考力、判断力、表現力等	・巻末に「ウェルビーイングカード」が掲載されている。教材を読み、自分が感じたことをキーワードが書かれたカードから選んで提示することで、その理由を友達と伝え合い、様々な見方や考え方を出し合うことができるよう工夫されている。 ・考えさせたい道徳的価値について、様々な立場の人の意見を掲載した教材があり、生徒がそれぞれの立場を理解した上で自分事として考えられるようになっている。 ・「memo」欄があり、教材を読みながら気になったことや自分の考えを書き留めたり、整理したりできるようになっている。	
C 学びに向かう力、人間性等	・全ての教科の基盤となる、互いを尊重し合い関係を深め合う学級集団形成につながる「ガイダンス」ページが、各学年冒頭に掲載されている。ウォーミングアップとして、短い教材を使い試せるようになっている。 ・教材の終末に「考えよう」「深めよう」という2つの発問が掲載されており、「私たちはどうしたらよいだろう」等、自分自身の生活につなげて考えたり、これからの実践につなげて考えたりできるように工夫されている。 ・教材が内容項目ごとに掲載されているため、生徒の実態等に応じて学校で配列を変え、日常生活における実践につなげることができるようになっている。	
デジタル教材について	・二次元コードを読み込むとそれぞれの学年の教材について、動画、画像、音声・外部リンクに分けて閲覧できるようになっている。 ・外部サイトについては、文部科学省、総務省等につながるようになっており、教材の内容についての知識を広げられるよう工夫されている。	

参 考 資 料

調査結果（数值）

国	語
書	写
社 会（地理的分野）	
社 会（歴史的分野）	
社 会（公民的分野）	
地	図
数	学
理	科
音 楽（一 般）	
音 楽（器楽合奏）	
美	術
保 健 体 育	
技術・家庭（技術分野）	
技術・家庭（家庭分野）	
英	語
道	徳

調査結果 国語

		観点A			観点B			観点C	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	事言 項業 を取 り上 げ使 てい 方に 関す 数	取情 り報 の扱 いて 方に 関す 数	項我 を取 り上 げ語 て文 化に 関す 数	所習 話話 数過 話し 程す 合たり をこ う活聞 明・動 に聞 くこ と取 り上 げ活 動や の学	て関 を章 説 いす 取、 る明 る文 学上 学な 簡学 習げ の文 章や 文章 実用 を明 く書 的 に とく な 活 文 しに 動	示む 用章 説 しこ す、 と明 とる 本 的な 活な るの 動ど 文章 を か 章、 簡学 習取 ら、 数程 過り 情学	所言 学 数語 習 活指 導 動 例 が 領 に 記 載 て い る あ 簡	ひ国 付語 い て の 学 習 が 簡 所 読 書 活 動 に 結
東京書籍	1年生	48	13	13	4	8	17	21	16
	2年生	43	12	13	6	6	17	20	14
	3年生	44	9	19	5	6	17	20	15
	合計	135	34	45	15	20	51	61	45
三省堂	1年生	47	11	18	4	10	16	25	17
	2年生	47	11	17	7	9	16	27	19
	3年生	47	9	19	7	7	17	26	18
	合計	141	31	54	18	26	49	78	54
教育出版	1年生	50	6	16	7	11	16	23	12
	2年生	59	9	10	7	11	17	26	13
	3年生	56	7	17	10	10	21	28	9
	合計	165	22	43	24	32	54	77	34
光村図書	1年生	72	10	15	12	19	18	28	21
	2年生	68	11	12	11	15	21	25	19
	3年生	65	7	16	12	11	23	21	22
	合計	205	28	43	35	45	62	74	62

調査結果 書写

		観点A		観点B		観点C
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
発行者	調査研究事項	の字形、文字の大きさ、配列の例示	楷書の意例の箇所数	手本となっている文字の数	手本に関わる例示の箇所数	（模造の能力を生かす様々な場面）の紹介、手紙を書くなど、箇所の例示
	個所数	43	49	6679	251	80
東京書籍	合計	43	49	6679	251	80
	個所数	58	43	4631	100	26
三省堂	合計	58	43	4631	100	26
	個所数	16	18	4887	281	97
教育出版	合計	16	18	4887	281	97
	個所数	17	41	6850	158	45
光村図書	合計	17	41	6850	158	45

調査結果 社会(地)

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	学習生活に活用できる内容の整理	我が国と国際関係の歴史、現代の政治経済の動向、国土の概要などに関する知識の整理	社会生活の諸事象の相互関係の理解、多面的・多角的に物事を考察する力	社会生活の諸事象の相互関係の理解、多面的・多角的に物事を考察する力	社会生活の諸事象の相互関係の理解、多面的・多角的に物事を考察する力	社会生活の諸事象の相互関係の理解、多面的・多角的に物事を考察する力	社会生活の諸事象の相互関係の理解、多面的・多角的に物事を考察する力
	発行所数	115	80	13	10	54	8	22
東京書籍	合計	115	80	13	10	54	8	22
教育出版	発行所数	243	39	18	12	44	4	9
	合計	243	39	18	12	44	4	9
帝国書院	発行所数	201	138	19	7	59	44	10
	合計	201	138	19	7	59	44	10
日本文教出版	発行所数	76	96	18	10	32	4	26
	合計	76	96	18	10	32	4	26

調査結果 社会(歴)

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	学知活て治我 習識用、、が 内にで社経国 容につき会済の のいるに、国 箇て、お国土 所概念け際と 数理念な関係 せど々等、 るになに現 た関場関代 めす面しの るで政	に効調 付果や けるに諸 学調資 習べ料 内容ま のめ様 箇る々 所技な 数能情 を報 身を	にや社 考相会 察互的 すの事 学連の 習を意 内容味 の多面 箇・義 数所、 角特 色	内け社 容て会 の選に 箇択見 所・られ 数判断 する課 し題り すの解 る決の 学に学 習向	るり思 学、考 習そ・判 内れ断 容らを のした 箇基こ 数議と 論を し説 た明 りし すた	の的社 箇に会 所解会 数決的 し実事 よをに う視つ と野い すにて る課、 学題よ 習をり 内主よ 容体い	た多社 め角会 的的 学な事 習考象 内容に の深いつ 箇く、 所理、 数解多 面解 さ面 的的 る・
東京書籍	個所数	200	134	136	4	127	10	40
	合計	200	134	136	4	127	10	40
教育出版	個所数	204	13	71	72	159	17	95
	合計	204	13	71	72	159	17	95
帝国書院	個所数	268	104	139	6	144	87	107
	合計	268	104	139	6	144	87	107
山川出版社	個所数	159	207	89	0	14	9	56
	合計	159	207	89	0	14	9	56
日本文教出版	個所数	252	49	42	96	147	10	25
	合計	252	49	42	96	147	10	25
自由社	個所数	133	57	20	12	36	4	54
	合計	133	57	20	12	36	4	54
育鵬社	個所数	209	31	61	25	129	11	81
	合計	209	31	61	25	129	11	81
学び舎	個所数	48	10	10	1	15	6	3
	合計	48	10	10	1	15	6	3
令和書籍	個所数	137	16	26	5	31	4	2
	合計	137	16	26	5	31	4	2

調査結果 社会(公)

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	学知活で治我が 習識用、、経国 内にで社済の 容つき会済、国 のいるにお国土 箇て、お国土 所理概け際と歴 数解念る関係史、 さな様係等、 せど々々等、 るになに現 た関場関代の めす面し政 のるで	に効調 付果査 けるに諸 学調資 習べ料 内容ま とら様 箇のめ 所技々 数能情 を報 身を	にや社 考相会 察互的 する事 学象 習を意 内多味 内容や 箇・義 所多、 数角特 的色	内け社 容て会 の選に 箇択見 所・ら 数判れ 断課 した題 りの す解 す決 学に 習向	るり思 学、考 習そ・判 内れ断 容らし のをた 箇基こ 所に議 数論を 説し 明り した	の的社 箇に会 所解の 数決実 事し をに う視 と野 すに 課、 学題 習を り主 内よ 容体	た多社 め角会 の的 学な事 習考象 内容に やつの 箇の深 く、 所理、 数解多 さ面 せの 的 る・
東京書籍	個所数	529	54	28	8	32	39	12
	合計	529	54	28	8	32	39	12
教育出版	個所数	593	20	39	3	17	42	14
	合計	593	20	39	3	17	42	14
帝国書院	個所数	489	25	56	23	131	35	9
	合計	489	25	56	23	131	35	9
日本文教出版	個所数	384	15	26	6	57	30	27
	合計	384	15	26	6	57	30	27
自由社	個所数	236	7	8	6	34	4	1
	合計	236	7	8	6	34	4	1
育鵬社	個所数	443	36	36	12	28	13	6
	合計	443	36	36	12	28	13	6

調査結果 社会地図

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	地図の使い方や読図・作図などの活用方法を取り上げている箇所数	見学調査の方法、学習の進め方、まとめ方を取り上げている箇所数	基本図、世界州別図、日本地域別図（図）	資料図の箇所数（社会的な事象の相関関係、自然環境との関係、その他）	資料図のテーマの数	巻末の統計資料の項目の数
	東京書籍	5	74	63	437	272	5
	合計	5	74	63	437	272	5
	帝国書院	7	156	66	691	284	15
	合計	7	156	66	691	284	15

調査結果 数学

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	の知識・技能 例として 「数量・図形 の性質を 活用する こと」を 身に付け る基礎 となる	学習の 過程で 必要と する 事項の 理解を 深める こと	思考力・ 判断力・ 表現力 の育成 に 関する 事項	問題解決 の過程 における 思考力 の育成 に 関する 事項	具体的 な活動 を通して 理解を 深める こと	各々の 内容に 関する 理解を 深める こと	生活や 学習の 場面で 活用 すること
	発行年	1年生	2年生	3年生	合計	1年生	2年生	3年生
東京書籍	1年生	1486	342	94	52	149	32	45
	2年生	781	216	81	48	78	22	30
	3年生	1228	230	136	58	90	17	39
	合計	3495	788	311	158	317	71	114
大日本図書	1年生	1644	385	164	37	152	16	54
	2年生	907	213	238	45	65	17	43
	3年生	1264	225	225	68	79	15	51
	合計	3815	823	627	150	296	48	148
学校図書	1年生	1421	385	284	34	126	18	45
	2年生	674	193	233	30	112	13	29
	3年生	1049	211	237	47	73	17	46
	合計	3144	789	754	111	311	48	120
教育出版	1年生	1512	365	285	40	112	13	42
	2年生	854	242	169	38	118	9	30
	3年生	1222	260	169	38	118	8	37
	合計	3588	867	623	116	348	30	109
啓林館	1年生	1313	400	149	17	104	7	39
	2年生	629	193	146	20	101	8	23
	3年生	1049	189	301	14	86	11	22
	合計	2991	782	596	51	291	26	84
数研出版	1年生	1237	310	157	39	86	8	30
	2年生	733	203	137	14	59	4	20
	3年生	1158	219	211	12	95	6	26
	合計	3128	732	505	65	240	18	76
日本文教出版	1年生	1628	360	224	25	109	17	27
	2年生	854	205	185	38	67	19	19
	3年生	1199	212	180	41	43	20	27
	合計	3681	777	589	104	219	56	73

調査結果

理科

		観点A			観点B			観点C	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	安全な観察、実験の仕方、記述の方法、事象の箇所、数値の器	し文観した、察、記録やグラフに表すデータを絵や示	所び単数学元ごとや章末の練習問題を工夫の等箇及	計し、問題を予想、仮説を立て、観察する、実験の	力結を果高を分析して、活動に解釈する、表現する	す探る箇の過程を振り返る活動に關	所高然社科学、技術の発展に關する、実生活の心、・箇を自実	数活動自然環境の調査、自由研究の管、的な課
東京書籍	1年生	95	23	30	130	70	15	80	31
	2年生	104	29	38	148	84	20	115	29
	3年生	102	31	35	140	84	22	122	39
	合計	301	83	103	418	238	57	317	99
大日本出版	1年生	116	29	34	112	29	5	76	17
	2年生	138	32	36	145	43	4	111	9
	3年生	123	24	42	145	31	15	122	12
	合計	377	85	112	402	103	24	309	38
学校図書	1年生	92	21	16	125	25	4	64	8
	2年生	104	29	20	166	18	10	77	2
	3年生	61	22	16	139	20	8	98	11
	合計	257	72	52	430	63	22	239	21
教育出版	1年生	134	23	38	90	30	0	69	35
	2年生	168	30	36	111	32	1	85	37
	3年生	129	23	38	110	27	6	106	60
	合計	431	76	112	311	89	7	260	132
啓林館	1年生	156	34	31	112	29	28	93	37
	2年生	148	32	43	135	44	37	136	23
	3年生	111	31	43	145	38	26	130	55
	合計	415	97	117	392	111	91	359	115

調査結果 音楽

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	知識の習得に関する記述の箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	設定された問題について考える活動がと	見られる記述の箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	活動が設定されている箇所数
	1年生	40	6	42	15	32	9
教育出版	23年上	49	2	53	4	31	10
	23年下	36	3	48	12	26	11
	合計	125	11	143	31	89	30
教育芸術社	1年生	36	5	50	5	29	18
	23年上	37	4	47	7	26	12
	23年下	27	4	34	6	36	4
	合計	100	13	131	18	91	34

※発行者の特長である項目について、各発行者の学年ごとに3つずつ○印を付しています。

調査結果 音楽(器)

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	知識の習得に関する記述の箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	設定の関わりについて、音楽を覚えたこと、音楽の理解を深めるための工夫が	見られる記述の箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	活動、伝言、語り、受けたこと、交換し、様々な方法
	教育出版	50	28	52	8	73	6
	合計	50	28	52	8	73	6
教育芸術社	個所数	36	49	31	13	54	0
	合計	36	49	31	13	54	0

美術

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
調査研究事項 発行者		す特徴ることについて扱った箇所数	要素に着目してそれらの働きを捉の	技法等の手順を紹介した箇所数	言語活動の充実に関わっている教材や学	鑑賞の活動に関わる題材の数	美術を通じた生活との関わりを	生徒が表現や鑑賞の学習をしてい
開隆堂	1年生	32	14	7	15	49	34	
	2・3年生	80	17	21	29	55	51	
	合計	112	31	28	44	104	85	
光村図書出版	1年生	40	33	13	22	47	43	
	2・3年生	35	19	10	30	52	31	
	合計	75	52	23	52	99	74	
日本文教出版	1年生	58	22	8	21	64	24	
	2・3年生	64	14	10	42	114	29	
	合計	122	36	18	63	178	53	

保健体育

		観点A			観点B		観点C		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
発行者	調査研究事項	りる運 扱方動 つへや てえス いる・ポ 箇知ー 所数」 に つ いて 取みわ	扱を健 つ高康 てめる いる必 箇要力 所性状 数況に につ いて 取て り体 力	のス健心 技ト康の 能レ課健 にス題康 関対のや す処疾 るや決 る内心に 容肺関 の蘇わ防 箇そる内 所そ関 数法容す 等、る	取す題身 りる資近 上課材な げ題をし てを用た る解い話 る決て合 箇す健い活 所学、の体 数学、験や 習安思 活安考 動持事 を例を 関促を	て真ど実 解やを踐 説図取 し、り理 たグ上解 りらげを しつた促 て、りす い表、た るなこめ 箇どう 所をム実 数用、験 い写な	な方運 共を動 生共や の有ス 視すポ 点のー 箇この 所とツ 数が多 数で様 きる なる楽 よう うみ	事にやや 例活回己 や動復己 問すのの いるた健 のよめ康 箇さに・ 所に主安 数気体全 付的の関 く、保す よ協持 う働増 的取組 進組	なな身 内ど近 容をな を肯健 取定康 りの的 上に心 げ提身 てえの ら発 育る 箇る 所よ 数う達
		東京書籍	個所数	135	29	358	346	503	73
	合計	135	29	358	346	503	73	160	31
大日本図書	個所数	157	40	377	190	854	57	112	33
	合計	157	40	377	190	854	57	112	33
大修館	個所数	100	28	336	218	764	68	69	29
	合計	100	28	336	218	764	68	69	29
Gakken	個所数	127	22	368	455	892	76	62	17
	合計	127	22	368	455	892	76	62	17

調査結果 技術

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	所組みのついで取り上げ、基礎的な	て等製作ができる技術に飼育、検査・上げ検	所る生活や社会の中で取り上げる技術に関わ	数過課題を設定し、取り決める一連の学習	に改問、善題、修決とその他の過程を振り替る活用、返り方、	箇会り環境や経済、社会と技術との関
東京書籍	個所数	167	97	65	84	39	60
	合計	167	97	65	84	39	60
教育図書	個所数	121	165	31	50	59	44
	合計	121	165	31	50	59	44
開隆堂	個所数	213	119	75	57	80	44
	合計	213	119	75	57	80	44

調査結果 家庭

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	資料に家族・家庭、衣食住、消費や環境	内容を理や製作などの技能に關する内	数や家庭や活動域で活用されるための箇教材	問題を解決的な学習の一連の学習過程	箇のの本幼児や高齢者などの継承との関わり、職業生活	てせ小各教いた指校科等の内容や、道徳の關連を定められた
	東京書籍	個所数	247	119	189	75	152
	合計	247	119	189	75	152	79
教育図書	個所数	226	84	251	52	124	48
	合計	226	84	251	52	124	48
開隆堂	個所数	339	101	219	8	135	96
	合計	339	101	219	8	135	96

調査結果 英語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	聞くこと （読むこと、 書くこと） の活動	話すこと （書くこと、 読むこと） の活動	読むこと （書くこと、 読むこと） の活動	書くこと （読むこと、 書くこと） の活動	話すこと （書くこと、 読むこと） の活動	読むこと （書くこと、 読むこと） の活動	書くこと （読むこと、 書くこと） の活動
		聞くこと （読むこと、 書くこと） の活動	話すこと （書くこと、 読むこと） の活動	読むこと （書くこと、 読むこと） の活動	書くこと （読むこと、 書くこと） の活動	話すこと （書くこと、 読むこと） の活動	読むこと （書くこと、 読むこと） の活動	書くこと （読むこと、 書くこと） の活動
東京書籍	1年生	99	113	37	26	31	24	39
	2年生	100	143	50	53	28	36	33
	3年生	89	113	41	47	26	32	33
	合計	288	369	128	126	85	92	105
開隆堂	1年生	101	116	49	18	28	32	27
	2年生	142	116	62	32	29	23	23
	3年生	132	97	65	24	31	16	22
	合計	375	329	176	74	88	71	72
三省堂	1年生	87	133	61	33	53	25	23
	2年生	113	140	61	35	51	21	26
	3年生	110	133	62	38	32	20	21
	合計	310	406	184	106	136	66	70
教育出版	1年生	118	95	54	19	26	18	11
	2年生	142	103	66	27	24	20	29
	3年生	140	84	72	29	35	13	28
	合計	400	282	192	75	85	51	68
光村図書	1年生	114	97	47	25	24	17	12
	2年生	107	113	69	38	32	17	23
	3年生	108	90	72	40	19	13	25
	合計	329	300	188	103	75	47	60
啓林館	1年生	103	112	60	24	35	32	18
	2年生	134	141	59	41	48	35	28
	3年生	102	98	50	29	37	23	20
	合計	339	351	169	94	120	90	66

調査結果 道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	活動の価値の理解に関わる学習	現代的な課題に関する内容等多	物事を多面的・多角的に考える	多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数	自ら振り返り、成長を実感し	各教科等と関連をもたせ、実践の指導
		箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数
東京書籍	1年生	17	31	12	51	11	37
	2年生	14	33	7	47	10	33
	3年生	18	35	9	51	7	35
	合計	49	99	28	149	28	105
教育出版	1年生	7	27	15	17	9	31
	2年生	5	23	10	13	7	27
	3年生	5	25	10	11	8	25
	合計	17	75	35	41	24	83
光村図書	1年生	5	27	32	14	7	25
	2年生	6	24	30	16	9	26
	3年生	7	22	26	12	8	34
	合計	18	73	88	42	24	85
日本文教出版	1年生	14	27	6	42	44	38
	2年生	12	32	7	43	44	32
	3年生	13	30	7	44	41	31
	合計	39	89	20	129	129	101
Gakken	1年生	19	35	7	44	9	28
	2年生	18	35	6	46	10	16
	3年生	17	31	11	45	9	19
	合計	54	101	24	135	28	63
あかつき教育図書	1年生	11	26	12	3	11	15
	2年生	9	25	11	4	10	15
	3年生	8	27	17	1	10	14
	合計	28	78	40	8	31	44
日本教科書	1年生	2	23	6	32	3	13
	2年生	2	22	8	37	1	17
	3年生	2	23	4	40	1	18
	合計	6	68	18	109	5	48

滋賀県立中学校において令和6年度に使用する教科用図書

令和5年8月

教科	種目	河瀬中学校	守山中学校	水口東中学校
国語	国語	国語 光村図書出版	国語 光村図書出版	国語 光村図書出版
	書写	中学書写 光村図書出版	新しい書写 東京書籍	新しい書写 東京書籍
社会	地理的分野	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 帝国書院	中学社会 地理 地域にまなぶ 教育出版
	歴史的分野	新しい社会 歴史 東京書籍	新しい社会 歴史 東京書籍	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き 帝国書院
	公民的分野	新しい社会 公民 東京書籍	中学社会 公民的分野 日本文教出版	新しい社会 公民 東京書籍
	地図	中学校社会科地図 帝国書院	中学校社会科地図 帝国書院	中学校社会科地図 帝国書院
数学	数学	これからの数学 これからの数学 探究ノート 数研出版	中学数学 日本文教出版	新しい数学 東京書籍
理科	理科	理科の世界 大日本図書	未来へひろがるサイエンス 啓林館	理科の世界 大日本図書
音楽	一般	中学生の音楽 教育芸術社	中学生の音楽 教育芸術社	中学生の音楽 教育芸術社
	器楽合奏	中学生の器楽 教育芸術社	中学生の器楽 教育芸術社	中学生の器楽 教育芸術社
美術	美術	美術 光村図書出版	美術 光村図書出版	美術 光村図書出版
保健体育	保健体育	中学保健体育 学研教育みらい	最新 中学校保健体育 大修館書店	新しい保健体育 東京書籍
技術・家庭	技術分野	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて 開隆堂出版	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology 東京書籍	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて 開隆堂出版
	家庭分野	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して 東京書籍	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生 開隆堂出版	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する 教育図書
外国語	英語	SUNSHINE ENGLISH COURSE 開隆堂出版	NEW HORIZON English Course 東京書籍	NEW CROWN English Series 三省堂
特別の教科 道徳	道徳	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき 光村図書出版	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート 日本文教出版	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート 日本文教出版